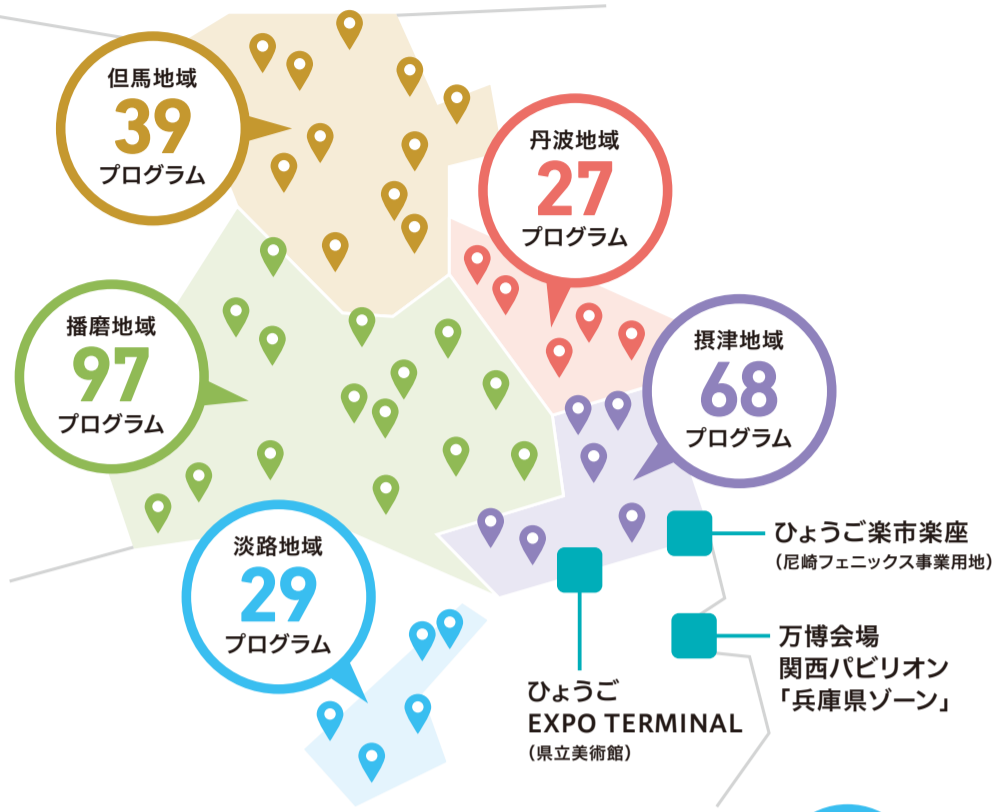


で万博を感じよう



例えば淡路では

昔懐かしい「吹き戻し」を製作する

淡路市の榎吹き戻しの里では、1960（昭和35）年から昔ながらの玩具「吹き戻し」を生産しており、国産品ではトップシェアを誇る生産現場を見学し、実際に「吹き戻し」を製作します。近年はリハビリやトレーニングにも活用されている懐かしいおもちゃに触れ、作ってみることで、その魅力を改めて知ってほしいです。（榎吹き戻しの里代表取締役社長 村田晋二さん）



体験者の声

10歳と12歳の息子も、すごく楽しんでいました。デジタルの時代ですが、アナログのおもちゃは最強だと感じました。

懐かしいおもちゃ「吹き戻し」のオープンファクトリー

③3歳以上 ※中学生までは要保護者同伴 ④通年10時～11時30分、13時～15時30分（約60分）※予約不要 ⑤榎吹き戻しの里（淡路市河内333-1）⑥高校生以上800円、3歳～中学生400円 ⑦同社 ☎0799-74-3560 ⑧0799-74-3137 吹き戻しの里

万博は兵庫の宝物に触れる絶好の機会

いよいよ万博が開幕します。関西パビリオンや県立美術館ギャラリーでは、兵庫県の“これまで”と“これから”を感じていただける体験型の展示をご用意しています。また、兵庫県をまるごと“パビリオン”にする取り組みを地域の皆さまと共に進めてきました。個性豊かな兵庫五国で受け継がれてきた、素晴らしい地場産業や、自然と共生する農林水産

業、多彩な芸術文化などを国内外の多くの方々に体験していただき、その体験から持続可能な社会の実現に向けたヒントを得ていただきたいと思います。県民の皆さまにもぜひ足を運んでいただき、世界に誇る兵庫の“宝物”に改めて触れていただければうれしく思います。

兵庫県知事 齋藤元彦

2 ひょうご EXPO TERMINAL

趣向を凝らした展示で兵庫の魅力を体験

ひょうごフィールドパビリオンの代表的なプログラムを体験型展示で紹介。県内の子どもたちが描いた“ミライのひょうご”の巨大デジタルアートも。入場無料。



④4月6日⑤～10月13日⑥⑦10時～18時 ⑧県立美術館ギャラリー（神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1） ひょうごフィールドパビリオン

3 ひょうご楽市楽座

万博帰りにも楽しめるナイトマーケット

尼崎万博パークアンドライド（P&R）駐車場の隣接地で、県産品のマルシェ、県内各地のプレーヤーによるステージイベントなどを開催します。入場無料。



④4月13日⑤～10月12日⑥の土曜、日曜16時～21時（全53日） ⑦尼崎フェニックス事業用地（尼崎市船出） ひょうご楽市楽座

4 万博会場 関西パビリオン 「兵庫県ゾーン」

HYOGOミライバスー体験型SDGs空間ー

映像空間「HYOGOミライバス」に乗って、時空を超えた旅へ。ひょうごフィールドパビリオンをモチーフに、兵庫が「続けてきたこと」「乗り越えてきたこと」を幻想的な映像で紹介します。



④4月13日⑤～10月13日⑥⑦9時15分～21時 ⑧万博会場関西パビリオン「兵庫県ゾーン」（大阪市此花区夢洲） ひょうごフィールドパビリオン

イベント
カレンダー

大阪・関西万博の県関連イベントを検索することができます。

イベント
探しは
こちら

